



学校図書館だより

2月号

令和5年2月10日
柏市立柏第五中学校
柏市学校図書館指導員
土屋理賀子

袖ひちて おすびし水の こほれるを 春立つけふの 風やとくらむ

紀貫之 『古今和歌集』 巻第一

二月の暦の「立春」は二十四節気において春の始まりとされる日です。春という言葉がつきますが、まだまだ冷たい風が吹き、関東でも雪が降る日がありますね。しかし、寒さの中で木々の芽は準備万端です。今年度も残りあと二ヶ月を切りました。一日一日を大切に、体調に気をつけて新しい春に向かってもう一息がんばりましょう。学校図書館はみなさんの心が温まる本を準備してお待ちしています！

□■□芥川賞・直木賞□■□

～芥川賞・直木賞が発表されました～

芥川賞は雑誌（同人雑誌を含む）に発表された新進作家による純文学の中・短編から選出され、直木賞は新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）から選出される賞です。

【出典】公益財団法人 日本文学振興会
<https://www.bunshun.co.jp/shinkokukai/>

168回芥川賞
「この世の喜びよ」井戸川射子著
「荒地の家族」佐藤厚志著

168回直木賞
「地図と拳」小川哲著
「しろがねの葉」千早茜著

今月のおすすめ本

～ テーマは「芥川賞・直木賞作品」 ～

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん 著 河出書房新 〈NDC913〉

推しが炎上した。それでも、推しは推し。推しをたたくアンチは相手にしない。盲目的にあるアイドルを応援し続けるあかりだったが……。『推し活』と聞くと楽しそうなイメージを持ちますが、主人公が感じている生きづらさを表現する文章が秀逸で、息苦しい思いが伝わってくる作品です。第164回芥川賞受賞。

『黒牢城』

米澤穂信 著 KADOKAWA 〈NDC913〉

「おぬしならばこの曲事を解ける」織田信長に叛旗（はんき）を翻した荒木村重と、村重に幽閉されていた信長の軍師・黒田官兵衛の間で繰り広げられる歴史ミステリー。ろう城する有岡城で次々に怪事件が起こる。追い詰められていく村重に、策を与えながらも不気味な企みを持つ官兵衛との心理戦にハラハラします。第166回直木賞受賞。

『銀河鉄道の父』

門井慶喜著 講談社 〈NDC913〉

名家の生まれながら家業を継がず、創作に情熱を注いだ宮沢賢治。その生涯を、父・政次郎の視点から描きます。父親として深い愛情で賢治を育てる政次郎の懐の広さと、子供に先立たれてしまった悲しみに胸を打たれます。第158回直木賞受賞。

学校図書館よりお知らせ



★3年生の皆さんへ★



3年生への最終貸出…2月17日（金）まで
すべての本の返却…2月24日（金）まで
となります。

※17日以降に貸出を希望する人は
図書館指導員までご相談ください。

